

上記以外で困っていること、こうしたら良いと思うこと。	大寺	赤道(?)を個人の駐車場に何十年も使用している人がいて、交通の妨害になって困っている。
		大寺熊野神社の杉の木を伐採して台風に備えたほうがいい
		神社役員ばかり大変な思いをして非常に不公平な住みにくい地域
		昔から続けている行事や役員など、今の時代にあったほうほうに見直したほうが良い
		うちのごみがたくさん出るので、ごみ集積所がもう一つ欲しい。
		ふれあいパークからコンビニの道があぶない。歩道を繋げたい
	内山	循環バスのバス停を城下と柿谷の間に増やしてほしい(ドラえもんとかピカチュウのあたり)
		広域農道への信号機設置
		余剰の農地の始末
		野良猫、犬がきて困っている
		ごみの問題。木の枝や木の捨てる場所がない 山の木が倒れているところがおおく、うちのほうへ倒れると心配。台風が多かったのでだいぶ倒れている。
		畑の手入れができていない、しのだけが伸びているところが多い。そこにごみが捨てられているので刈っていただきたい。
		アンケートにもあったが、今後耕作放棄地が増えてと思うので、里山の方々、都会の方々にニーズがあるなら、それを活用する双方の窓口があるといいとおもう。最初は虫食い状態でのひろまりかとおもうが、地域を区切ってまとまった場所が理想。そんな活動拠点ができたらいいとおもう。簡易宿泊(寝袋)などでシャワーがある活動拠点があると活動しやすいかとおもう。理想的にはクライנגルテンがあるとよい。
	飯塚	ごみの不法投棄に対処 これは啓発活動 監視カメラ設置など
		最近空き家への外国人の出入りが多くなっているの、見知らぬ人の出入りが不安
		畑が耕作できず、荒れてしまって困っている。
松峰神社のしゅうへんに、四季を感じられる花・木などを植えていただきたい。		
豊和の中で貴方が好きな場所や風景、催し物。	里山の蛍、飯塚の公園の桜。	
	里山の蛍	
	里山の蛍	
	周りに自然がのこっているところ	
	田園風景	
	大寺から飯高間の県道から眼下にひろがる田んぼの風景	
	山間の谷津田	
	田園風景	
	舌状台地のなかのいりくんだ谷津田	
	かいはたの風景	
	干潟の風景	
	ふれあいパークおよびその周辺	
	ふれあいパーク	
	ふれあいパークの農村公園	
	松峰神社からの初日の出	
	地名 馬洗 御手洗などいわくありげな地名がおもしろい 飯塚には城もあって、それにちなんだ名があると聞きました。それをめぐりながらのオリエンテーリングは。	
	内山妙廣寺 そこで住職による勉強会をおねがいである。郷土にこの地に生まれたことに誇りと感謝がもてるようになる。悲華教を学ぶ	

環境を守ったり、豊和を元気にしていくためには何が必要と思うか。

		地区民大会
		地域の食事会
		自宅の庭
	大寺	人に迷惑をかけない
		道路に汚水を流さない
		道端などを除草する
		ゴミの集積所をつくる
		若者の働き場所がほしい
		農道などの山の木、竹が垂れ下がっているので地主がなかなか手入れをしない
		空き家を紹介して移住者の転入をふやし、こどものかずを増やしてほしい
		バスを増やす
		若者と人口増加
		一人で草を刈ってくださいと頼んでも憎まれるだけで何もしてくれない。市の税金をつかって市で動いてほしい
		ふれあいパークの再利用を中心に考えてはどうか（ほかの場所で催し物をやってもだれも気付かない） 地域の催しものすべて、ふれあいパークで実施する。パークは常に催し物を立案して人を呼ぶ
		ふれあいパークの食事内容が落ちている
		小学校の人が少ないことをアピールして都心からの流れを狙う
	内山	空き家のリフォーム
		保全会の充実
		たくさんの方が増えるイベント
		若い人を増やしたい
		森林の管理
		道路が狭いので広くしてほしい 車のすれ違いが大変なので。
		新しく入ってくる人にたいして、習慣や風習が異なるという理由で排除しないでほしい。お互いを尊重する心を持ってほしい
		農家が減り、勤め人が増えた今、隣は何をする人ぞ になっていて、地域のつながりが希薄になっている。せっかく同じ地区に住んでいるのだから、面倒でない範囲の交流の機会があるといいとおもう。虫を愛でる会などとてもいいとおもいます。古くからの住人にはしきたりが高い。または若い人だけ、都会の人だけの集いと思っていて人がいる。よびかけに工夫をして、お年寄りたちにも参加したい気持ちにさせてほしい。抽選会や、フリーマーケットなどで、参加意欲をかりたててみたらどうか。回覧板を利用して、困りごと 不用品交換や情報なども発信するのはどうか。中心組織がなかったところにカンフル剤になってほしい。里山での耕作で無農薬 自然栽培はつらぬくにしても、手作業だけでは面積に限界があるとおもうので、たとえば、耕す作業は機械をつかう、多様なニーズに対応できる窓口があるといいとおもう。それには地域の農家さんとの交渉窓口があると良いかと。トラクターや田植え機など、作業に入る前に計画をたてておけば、空いている時間がかなりある。普段フル活用できているわけでもないのに、市の広報にでている料金で、契約するのなら、貸す持ち主がおおいとおもう。
	飯塚	とよわ地区の独居高齢者を支える活動として2025年にも、団塊の世代が75歳を迎えることから、とよわ農協・ふれあいパークなどと、連携し、事業展開
		移住の促進と、移住者との交流 協力による地域づくり
		ふれあいパークのところの公園にブランコが欲しい
		匠瑳市全体の予算の配分の見直し
		かいはたを眺める場所にソーラーカフェがあれば、人の集う場所になるかと思う。
		子どもが増えるといいなあ
		かいはた周辺の中央部に企業誘致 または農業経営者をさそうシステムづくり
		犯罪のない村づくり

	人が増えるように商業施設があるとよい
	かいはたに季節を感じられる植物 花をうえていただき、他県からの観光客を迎えられればいいなあ
	地域循環型の経済とそれを支える仕組みづくり
	古民家による農家レストランの開店 起業基金の創設 料理人の公募 当面とよわ地区で異種メニューによる店舗の開設 食材はとよわ産 使用電力はソーラーにより無料にする7
	空港ロビーに匠磋（とよわコーナー）を設置し、広報する
	成田空港第3滑走路をとよわに開港 空港へとよわから20分をアピールする
	はたけをかりうけ、提供者へ借地代を交付し、そのはたけへ植物を植えるというシステムはどうでしょう